

令和 8 年 6 月定例会 一般質問通告一覧

発言順	通 告 者	質問事項（質問要旨は別紙）	質問の 相 手
18 日 1 番	石 関 華	1 スクールバスの活用について 2 町の治安維持について	教育長 町 長
18 日 2 番	野 崎 郁 徳	1 一茶シーズンを終了し、どのように総括し、銘茶「川根茶」産地として、どのように今後につなげていくのか 2 構造的な歳入不足の状況の中、歳出削減にむけての喫緊の課題である行財政改革の具体的な取り組みは	町長 町長
18 日 3 番	中 原 緑	1 大井川鐵道と町の観光振興について	町長
19 日 1 番	山 田 貴 之	1 中東情勢による各産業への影響について 2 創造と生きがいの湯の在り方について 3 新スマート物流実装事業について	町長 町長 町長
19 日 2 番	佐々木直也	1 誰も独りぼっちにしない町へ。AI 時代の「共生」と、本町の温もりを活かした全世代型包括支援について	町長 教育長
19 日 3 番	野 口 直 次	1 国勢調査の結果から今後の当町の人口減少対策 3 次総合計画への反映について 2 町政懇談会から見えてくる「今そして未来」どの様な成果があったか伺う。 3 物価対策支援に町も状況によるが更に、対策必要性が出てくるのではないかと伺う。	町長 町長 町長
19 日 4 番	爾 見 淳 芳	1 本町の交通安全対策について 2 新火葬場、霊柩車の利用環境及び利便性向上について 3 障害のある方の旅行や社会参加の機会の確保するための付き添いの保護者の負担軽減について	町長 町長 町長
19 日 5 番	山 下 真 男	1 町民の健康増進に関する施策について 2 町の公共交通に関して	町長 町長

※議員の質問の制限時間は、1 回につき 30 分以内（質問時間のみ）とし、再質問以降は一問一答方式とする。

発言順 1 番

質問者	質 問 事 項	質 問 要 旨	質問の相手
石関 華	1 スクールバスの活用について	(1) 児童生徒の熱中症対策について 近年の猛暑の常態化により、児童生徒の下校時における熱中症リスクが高まっている。 これまで町が実施してきた熱中症対策の内容と効果を伺うとともに、スクールバスの活用を含めた今後の安全対策について町の考えを伺う。 (2) 児童生徒の安全確保について 通学・下校時における犯罪被害や交通事故から児童生徒を守ることは重要な課題である。 町として現在実施している安全対策の内容を伺うとともに、スクールバスの活用を含めた安全確保策の今後の展望について伺う。	教育長
	2 町の治安維持について	(1) 駐在所再編後の治安維持対策について 全国的に駐在所の統廃合や再編が進められており、本町においても地域の安全確保への影響を懸念する声がある。 駐在所の再編による体制変更後、町としてどのように地域の治安維持や防犯体制の確保を図っていく考えか伺う。 (2) 警察への要望活動について 駐在所再編にあたっては、地域の実情や住民の不安を十分に踏まえることが重要である。 町として地区住民の意見を把握し、その内容を警察署や関係機関へ積極的に伝えとともに、必要な防犯体制の維持・強化について具体的な要望を行う考えがあるか伺う。	町 長 町 長

6月18日

発言順2番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
野崎郁徳	1 一茶シーズンを終了し、どのように総括し、銘茶「川根茶」産地として、どのように今後につなげていくのか	(1) 令和8年産一番茶の状況を町は、どのように捉えているか (2) 生産組織（生産者）の減少に歯止めがかからない状況が続いている。さらに町内茶商の廃業も続いている状況をどう捉え、どのように対応していく考えか (3) 碾茶栽培が急増している状況を踏まえ、銘茶「川根茶」となりうる「普通煎茶」栽培、製造に対する状況をどのように捉え、どう対応していく考えか (4) 農林業センターで所管し、茶園更新や耕作放棄茶園対策に大きな成果があった「茶樹粉碎機：ハンマーナイフモア」の故障に伴う使用不能状態が続いている 今後の見通しを伺う	町長
	2 構造的な歳入不足の状況の中、歳出削減にむけての喫緊の課題である行財政改革の具体的な取り組みは	(1) 行財政改革の推進は迅速に且、効果的に進めていくことが求められている状況と考えるが、令和8年度における具体的な行財政改革の考え方、取り組みについて伺う (2) 行政改革において、行政DXの推進を積極的に展開されているが、それらの取り組みの具体的な成果について伺う (3) 議会だよりでも取り上げてが、予算に占める経常経費は少なくない 中でも人件費の占める割合は大きく、職員数、管理職の割合等課題も多いと感じている 早急の機構改革、定数管理に取り組むべきと考えるがいかがか	町長

6月18日

発言順3番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
中原 緑	1 大井川鐵道と町の観光振興について	(1) 大井川鐵道全線復旧支援は本年度から川根本町側の工事が始まり、令和10年度までに千頭駅への開通が見込まれている。 町は“地域資源”への投資として、「大井川鐵道全線復旧への支援」「観光を軸とした地域振興」「地域を支える産業施策の展開」を柱に掲げている。 しかし、来月からは1乗車3,500円への料金改定により、井川線の観光客減少は避けられない状況と考える。今後は、町内観光業者が観光客減少の影響を最小にとどめるために、大鉄サポーターズクラブの話し合いの場で不利にならないよう対応していただきたいがいかがか。 (2) 6月2日の議会全員協議会において、大井川鐵道の鳥塚社長から「大井川流域の観光振興には自治体の枠を超えた連携が必要」との見解が示された。流域の観光を持続的に発展させるためには、大井川鐵道・川根本町・島田市・静岡市・中部電力が参加する協議会を設置し、定期的な対話と連携を図ることが不可欠と考える。協議会の設置について、町長の見解を伺う。	町 長

6月19日

発言順1番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
山田貴之	1 中東情勢による各産業への影響について	3月定例会において、中東情勢による燃料費の高騰に伴う各産業への影響について質問した。その際、特に農業及び観光業に対しての補助制度の創設について答弁していただいた。その進捗状況について伺う。 (1) 各産業において、特に燃料費の高騰の影響についての認識を伺う。 (2) 補助制度の制度設計をどう考えているか伺う。	町 長
	2 創造と生きがいの湯の在り方について	町が高齢者福祉施設として位置付けている「創造と生きがいの湯」について伺う。 (1) 同施設の設置目的について伺う。 (2) 設置年度及びこれまでの修繕等の実績について伺う。 (3) R7 運営実績（利用者数、収支状況等）について伺う。 (4) 利用対象者をどう捉えているか伺う。	町 長
	3 新スマート物流実装事業について	R6 年度から事業着手している新スマート物流実装事業について伺う。 (1) この事業の目的について改めて伺う。 (2) 今年度が事業最終年度となるが、現在の進捗状況について伺う。 (3) 同事業で活用されているドローンについて、他分野も含めた今後の活用について伺う。	町 長

発言順 2 番

[illegible]

6月19日

発言順3番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
野口直次	1 国勢調査の結果から今後の当町の人口減少対策3次総合計画への反映について	(1) 減少傾向が続く中、この調査により何が見えてきているのかを伺う (2) 重点施策の移住・定住促進がどのような形で減少対策に、数字を含めて反映されているか伺う (3) 少子高齢化の波の中で2次総合計画より以上に、課題を克服するための委員会等で議論を深めてほしいが考えがあるか伺う。	町長
	2 町政懇談会から見えてくる「今そして未来」どのような成果があったか伺う。	(1) 町（町長）の思いを住民はどの様に受け止めているか、今後を含め手ごたえをお聞きする (2) 生活に直結する支援事業が主な議題でしたが、産業・観光等の説明はどのような形で、どんな場所タイミングで説明するかを伺う。 (3) お知らせの方法は、従来の手段と町が考えている新しい情報伝達を加えることでかわねフォン廃止でも、十分充実していけるのではないか、町はどのように感じ今後進めていくか再度伺う。 (4) 質問で、町長（行政）の「夢・楽しみは何ですか」トップに限らず、一番大切なことで、人づくりに繋がる、町長の考えをもう一度お聞きします。	町長
	3 物価対策支援に町も状況によるが更に、対策必要性が出てくるのではないかと伺う。	(1) 町が把握している、町内の製造業、商工業・建設業等において資材不足、部品の調達、納期の遅れ等が懸念される、既に影響は出ているのか、公共事業の進捗状況も心配する、 (2) 厳しい財政状況は理解しつつ、追加支援が仮に必要とされた場合、補正予算等スピード感をもって対応されることに期待する、町の対策と考え方を含めお聞きする。	町長

6月19日

発言順4番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
爾見淳芳	1 本町の交通安全対策について	(1) 改正道路交通法施行に伴い青切符制度が導入され交通違反に対する取り締まりが強化された。また自動車が自転車を追い越す際の安全間隔の確保など新たなルールも施行されている。しかし、外国ほど自転車専用道路など整備されてなく、地方自治体には急務の安全対策を求められています。そこで本町の安全対策をどう描いているのか伺う ア 新制度について自転車利用者、自動車のドライバーを含め周知はどのようにやっているか イ 通学路、主要道路の安全対策は行っているのか、また今後の環境整備をどのように進めるのか ウ 小中高の学生における交通安全教育及び自転車利用のルール指導を考えているのか (2) 川根高校から若者交流センター奥流までの約徒歩10分、700メートルの区間で暗い場所があり、冬期通学や公営塾利用者の保護者や近隣の自動車の利用者からの要望です。川根高校から寮まで周辺の街灯設備について伺う ア 川根高校、南麓寮から奥流を結ぶ通学路の街灯の設置状況や夜間における通行安全の状況を把握しているのか イ 夕暮れ、夜間の状況を踏まえて街灯が不足している箇所について調査を行う考えはあるか ウ 防犯、交通安全の観点からLEDなどの街灯の新設などの環境整備のお考えはあるか伺う	町長
	2 新火葬場、霊柩車の利用環境及び利便性向上について	(1) 老朽化に伴い合併特例債での火葬場の新設は評価しつつも、供用開始後に利用者、スタッフが感じている不便や課題について改善を伺う ア ①駐車場の設備、②動線、③告別室、④待合室、⑤授乳室、⑥飲み物の自動販売機、⑦収骨室、について利用者の利便性をどのように評価しているのか	町長

		イ 今後利用者、関係者、有識者からの意見聴取を行い施設運営に反映するお考えはあるか ウ 既にこれらの問題点は設計段階で予想されていたと先輩議員よりお伺いしています、全協で出していた意見をどの様に集約し反映したのか、また今後、議員、町民または有識者の意見をどのように町政に反映していくのか (2) 近年、町内の高齢化に伴い介護施設や医療機関で亡くなられる方が増えている、一方で施設から寺院や自宅への搬送については町外の葬祭事業者の霊柩車を利用せざるをえず、出棺時に利用範囲は限定されている。町外の霊柩車の場合距離による費用の負担が大きい。そこで町民の費用負担軽減、サービス向上の観点から町有霊柩車の活用拡大を検討できないか伺う ア 現在の町有霊柩車の利用条件は何か イ 施設から寺院、自宅の搬送に利用できない理由は何か ウ 町民は人生の最後においても安心して地元で見送られる環境を求めています町内搬送に限ってでも町有霊柩車を活用できる様検討するお考えはありませんか	
	3 障害のある方の旅行や社会参加の機会の確保するための付き添いの保護者の負担軽減について	(1) 一般的に障がい福祉サービス事業所の行事や旅行では利用者本人の費用や引率スタッフは補助対象になっているが付添いの家族の費用は自己負担が多く、場合によっては保護者の同行が事実上不可欠なケースがあります。手をつなぐ育成会や町内事業所の活動実態を踏まえ、保護者負担軽減について町としてどのように考えているか伺う ア 町内の障がい者施設事業所が実施する旅行、研修行事の実態を把握しているか イ 保護者負担が参加の障壁となっている実態、また他の自治体の助成制度を調査したことがあるか ウ 町独自の助成制度を検討する考えはあるか	町長

6月19日

発言順5番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
山下真男	1 町民の健康増進に関する施策について	人口減少と高齢化が進む中で、医療費や介護需要の拡大が懸念される。一方で、健康寿命を延ばし、予防医療に務めることは町民の幸福度につながるとともに町の財政の健全化や地域の活力の維持にもつながる重要な命題である。 (1)町民の健康が向上することによって軽減される予算にはどのようなものがあって今年度の予算額はどれくらいか。 (2)町民の健康寿命、平均寿命、要介護認定率、生活習慣病の現状はどうなっており、全国平均に比べてどうか。 (3)高齢者や健康に問題をかかえる人に対して現在どのような施策を行っており対象者のフォローはどうなっているか。 (4)健康に関する数値目標はあるか。 (5)それらの目標数字を達成した時にどれくらいの予算が軽減されるか。	町長
	2 町の公共交通に関して	本町は高齢化と人口減少が進み、この山間地域で暮らしていくのに公共交通は住民の生活を支える重要な社会基盤となっていますが、策定した「地域公共交通計画」を踏まえて質問をいたします。 (1)現在の高齢者の運転免許返納の実態はどうなっているか。 (2)公共交通を利用した特に通院、買い物を目的とした高齢者の利用状況はどうか。 (3)2029年に全線開通する大井川鐵道は観光だけの目的ではなく、町民、特に高齢者の足となるように利用できればさらに利便性も上がると思うが、大井川鐵道をどう位置づけるか。 (4)大井川鐵道、町営バス、おでかけ号等に加えてライドシェアやカーシェア等の考えもあり、これから様々検討していくと思うが、当町の公共交通に関してどのようなビジョンをもっているか。	町長